

ケニア共和国で我が国による初の道路整備事業

「ナイロビ西部環状道路建設事業」を本格着工

株式会社 N I P P O (社長 水島和紀)は4月15日(受注日)、ケニア共和国ケニア都市道路公社(K U R R A)発注の「ケニア共和国ナイロビ西部環状道路建設事業」を単独受注し、その起工式が8月12日にナイロビ市内で執り行われました。本事業はケニア共和国における我が国企業による初めての道路整備事業で、受注金額は約21億円、工期は17ヶ月で、日本国政府が国際協力機構(J I C A)を通じて供与する無償資金協力(O D A)により実施されるものです。



起工式でスピーチする大統領

本事業は当社の海外工事として受注金額、施工規模ともにトップクラスの大きな事業となります。起工式

には、ケニア共和国大統領、首相、閣僚ら多くの政府要人が列席し、同国のインフラ整備の重要性と本事業への期待が述べられました。このように多くの要人が出席した大規模な式典が開催されることは、ひとつの事業としては異例のことです。

ケニア共和国の首都ナイロビはアフリカ有数の国際都市であり、東アフリカの中心的都市として年間5%の成長を遂げています。地方からの人口流入とともにモータリゼーションが著しく、慢性化した市内の交通渋滞は社会・経済の大きな足かせとなっています。

政府は道路網の整備を急ピッチに進めており、経済発展を促し、2030年までの中進国入りを目指しています

本事業の対象地域は、市内中心部の中でも、河川により道路が分断されていたり、舗装道路が途中で切れるなどしており、特に優先度の高い道路整備事業として指定されています。



盛土工施工状況

これにより交通渋滞の緩和とともに、歩道を敷設することで世界的に社会問題化している交通安全に寄与することを目的としています。

当社は本事業が日本の道路技術や施工品質の高さをケニア共和国や周辺諸国に認めていただける絶好の機会であると捉え、本事業を足がかりにインフラ需要が豊富なアフリカで今後の事業展開を推進し、社会基盤づくりに貢献していきたいと考えております。

プレスリリース

〈工事概要〉

切土工事(土砂掘削・岩掘削)	123,189 m ³
盛土工事	40,812 m ³
下層路盤工(t=20~35 cm)	114,520 m ²
上層路盤工(t=10~20 cm)	117,820 m ²
表層工(t=3 cm、5 cm)	123,940 m ²
基層工(t=4.5 cm、5 cm)	123,940 m ²
取付道路工(表層 t=3 cm + 路盤 10 cm)	4,476 m ²
自転車通行帯舗装工(表層 t=3 cm + 路盤 10 cm)	12,510 m ²
歩道インターロッキングブロック工(表層 t=6 cm + 路盤 10 cm)	36,596 m ²
函渠工(ポータルカルバート、ボックスカルバート)	4 か所
縁石工	52,257 m
平板ブロック張側溝工	14,630 m
管渠工(パイプカルバート D=600 mm、800 mm)	1,974 m
集水樹工	402 か所
道路照明灯設置(照明灯柱、ハンドホール、電線鞘管)	716 本
擁壁工	1 式
道路白線工	60,400 m
路線名と施工延長 ML3 : 1.76 km、ML6 : 2.85 km、ML7 : 3.75 km	計 : 8.36 km
工期 : 2011年4月15日 ~ 2012年9月15日	

〈施工場所〉



ナイロビ道路地図

(Legend)
— Widening the Existing Paved Road
— Widening and Paving the Existing Un-paved Road
— Constructing New Road
■ Replacing the Existing Bridges
 Walkways on Both Sides for All Sections

